

受賞名：優秀賞

タイトル：ぼくの身近なおまわりさん

氏名：鈴木 綾真

小学校名：福島県 会津美里町立新鶴小学校 三年

テレビで見たことのあるけいさつかんは、はん人にきびしい言葉で話していて、ぼくは少しこわいイメージがあった。

でも、二年生の時にちゅうざい所に見学に行った時は、中を案内してもらったり、指紋をとらせてもらったりした。しつ問にこたえてくれたおまわりさんはとてもやさしかった。

集団登校で時どきパトカーとすれちがう。そのときもおまわりさんは、「おはよう。気をつけて行ってらっしゃい。」と、声をかけてくれる。その時も、とってもやさしい顔。あれ？テレビで見るけいさつかんとなんだがちがう人みたいだ。

この前、ぼくの家近くの店にどろぼうが入った。レジのお金をぬすんだらしい。次の日、ぼくの家いつものおまわりさんが来た。ぼくの家の中庭にある、ぼうはんカメラを見せてほしいって。その日はすぐに帰ったけど、別の日にけいさつかんの人に来て、またカメラを見ていった。その時は、どろぼうが入った夜から次の日の朝まで、家の前を通った車、一台一台の写真を撮っていた。ぼくは別の部屋にいたけど、午前中ずっとカメラを見ていたんだって。

ぼくはたった一つのじけんにも、こんなに時間をかけて調べていることを知り、おどろいた。そして、はんになをつかまえるために一生けんめいがんばっているけいさつかんはとってもカッコいいと思った。

そして、テレビで見たけいさつかんも、悪いことをした人をぜったいにゆるさないという気持ちがあったから、表情がこわくみえたんだと思った。

ふだんはとってもやさしいおまわりさん。でもこまった時にたすけてくれたり、悪い人をつかまえたりする時は、しんけんな顔のけいさつかん。どっちもぼくたちのために、がんばって仕事をしてくれていることがわかった。やっぱり、ぼくのまちのおまわりさんは、とってもカッコいい。